

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2006-16496(P2006-16496A)

【公開日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2004-195811(P2004-195811)

【国際特許分類】

C 1 1 D	17/08	(2006.01)
C 0 2 F	1/52	(2006.01)
C 1 1 D	7/14	(2006.01)
C 1 1 D	7/16	(2006.01)
C 2 3 G	1/19	(2006.01)
C 2 3 G	1/36	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	17/08	
C 0 2 F	1/52	H
C 1 1 D	7/14	
C 1 1 D	7/16	
C 2 3 G	1/19	
C 2 3 G	1/36	

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月22日(2007.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

珪酸ナトリウムおよび/またはリン酸ナトリウムを有効成分とする水溶液からなる、リフローハンダ付け装置に配設されたラジエーター用の洗浄剤。

【請求項2】

珪酸ナトリウムがメタ珪酸ナトリウムであり、リン酸ナトリウムがトリポリリン酸ナトリウムである請求項1に記載の洗浄剤。

【請求項3】

請求項1または2に記載の洗浄剤で前記ラジエーターを洗浄した際に生ずる洗浄廃液に、酸または無機酸塩を添加することにより、当該廃液中の樹脂状物質を沈殿させることを特徴とする洗浄廃液の処理方法。

【請求項4】

酸が無機酸および/または有機酸である請求項3に記載の処理方法。

【請求項5】

無機酸塩が、無機酸のアルカリ金属塩またはアルカリ土類金属塩である請求項3に記載の処理方法。

【請求項6】

無機酸が硫酸、硝酸、塩酸、フッ酸からなる群より選ばれる少なくとも1つである請求項4または5に記載の処理方法。

【請求項7】

有機酸が蟻酸、酢酸、シュウ酸、グルタル酸、アジピン酸、クエン酸、りんご酸、酒石酸、フタル酸、マレイン酸、安息香酸、 α -フマル酸からなる群より選ばれる少なくとも1つである請求項4に記載の処理方法。